Gastro-Health Now

認定ＮＰＯ法人
日本胃がん予知・診断・治療研究機構
Certified Non Profitable Organization
Japan Research Foundation of Prediction,
Diagnosis and Therapy for Gastric Cancer (JRF PDT GC)

目　次

◆ 大田原市における胃がんリスク(ABC)検診について
　ー3年間の総括と運用についてー ……1
◆ あとがき・お知らせ……4

印刷　城南印刷工芸(株) 03-3752-3391

発行所　認定NPO法人
日本胃がん予知・診断・治療研究機構
〒108-0072
東京都港区白金１丁目17番２号
白金タワーテラス棟 609号室
電 話　03-3448-1077
FAX　03-3448-1078
E-mail : info@gastro-health-now.org
http://www.gastro-health-now.org

2016.2.1
第40号

大田原市における胃がんリスク(ABC)検診について
ー 3年間の総括と運用について ー

増山胃腸科クリニック　院長
増　山　仁　徳

はじめに

大田原市は東京から北へ150㎞、栃木県の北東部に位置する人口75,000人の自然豊かな自治体です(図1)。

当市では平成23年度より40歳以上74歳までの5歳節目年齢対象者に胃がんリスク検診を導入・実施し、今年で5年目となりました。

本稿では当市における平成23年度から25年度までの3年間のX線検診とリスク検診の胃がん発見率、胃がん一件当たりの発見費用および二次検診対象者に対する受診勧奨活動

日本医事新報社
B5版·248頁·カラー　定価(本体4,200円+税)
ISBN 978-4-7849-4500-9

胃がん対策の最前線！

血清ABC検診で
内視鏡で
X線で
胃炎を
どうする?
ー検診から対策までー

『登山口は違えど、めざす「胃がん撲滅」の頂は1つである(本書序文より)』

編集 三木一正
認定NPO法人 日本胃がん予知・診断・治療研究機構理事長

●「胃がん対策」への、3つのアプローチ
(血清ABC検診、内視鏡、X線)を徹底解説!
それぞれの最新知見からメリットやデメリットまでもれなく述べます!
●「どれが一番優れているか」ではなく、それぞれ「補い合う」ことが重要!
●胃がん撲滅のために、予知や予防に重きをおいたこれからの胃がん対策を1冊にまとめました!
(主要内容と執筆者一覧を4ページに掲載しています。)

図１　大田原市

表１　発見悪性病変の内訳（大田原市胃がん検診）

		平成23年度	平成24年度	平成25年度
X線検診	受診者数	6，473人	6，023人	6，145人
	早期胃がん	7	5	15
	進行胃がん	1	0	1
	胃MALTリンパ腫	0	0	0
	食道がん	0	0	1
リスク検診	受診者数	1，739人	1，905人	1，987人
	早期胃がん	8	5	5
	進行胃がん	1	3	0
	胃MALTリンパ腫	1	0	0
	食道がん	3	0	1

表２　大田原市胃がん検診 ～X線法とリスク検診の比較～

ⅰ 胃X線検診

	平成２３年度	平成２４年度	平成２５年度	平　均
受診者数	6，473人	6，023人	5，938人	6，145人
検診総費用	2，719万円	2，530万円	2，490万円	2，580万円
1件の費用	4，200円	4，200円	4，200円	4，200円
がん発見者数	8人(0.12%)	5人(0.08%)	16人(0.27%)	10人(0.16%)
胃がん1件発見費用	340万円	506万円	157万円	258万円

ⅱ 胃リスク検診

	平成２３年度	平成２４年度	平成２５年度	平　均
受診者数	1，739人	1，905人	1，987人	1，877人
検診総費用	550万円	600万円	626万円	592万円
1件の費用	3，200円	3，200円	3，200円	3，200円
がん発見者数	9人(0.52%)	8人(0.42%)	5人(0.25%)	7人(0.39%)
胃がん1件発見費用	61万円	75万円	125万円	87万円

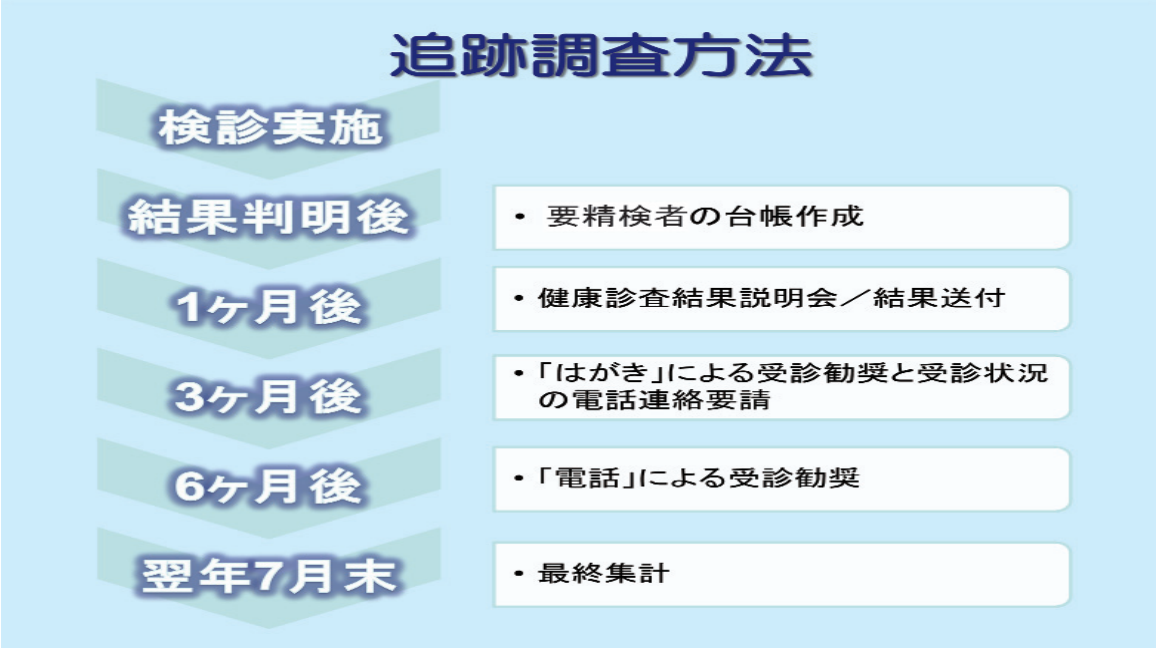

図２　大田原市がん検診後の追跡調査フロー図

の実際についてご紹介いたします。

平成23年度～25年度　3年間の総括

胃がんリスク検診を導入した平成23年度から25年度の3年間でX線検診とリスク検診で胃がん発見数を比較すると、X線検診の胃がん発見数は平成23年度、早期7例、進行1例、平成24年度、早期5例、進行0、平成23年度、早期15例、進行1例でした。一方リスク検診は平成25年度、早期8例、進行1例、平成24年度、早期5例、進行3例、平成25年度、早期5例、進行0でした。また、リスク検診ではこの3年間で食道がんが4例、胃マルトリンパ腫が1例発見されています(表1)。

次にX線検診とリスク検診とで胃がん発見率、胃がん一件当たりの発見費用を比較しますと、X線検診は一件当たりの費用が4,200円、がん発見率は0.16%、胃がん一件当たりの発見費用は258万円でした。一方、リスク検診は一件当たりの費用が3,200円、がん発見率は0.39%、胃がん一件当たりの発見費用は87万円でした(表2)。要約しますとリスク検診はX線検診と比較し、胃がん発見率は2.4倍、1件当たりの発見費用は1/3でした。

胃がんリスク検診を成功させるための運用の実際

大田原市は胃がん二次検診者の100%受診を目標に受診者が主体的に健康管理を行えるよう支援しています。具体的にはがん検診結果判定後、①要精検者(二次検診者)台帳を作成、②約1ヶ月後に健診結果説明会または結果送付と受診勧奨、③3ヶ月後二次検診未受診者に葉書による受診勧奨、④6ヶ月後、未受診者には電話／訪問で状況確認と受診勧奨を行っています(図2)。このように繰り返し受診勧奨を行うことにより、平成23年度から25年度の3年間の二次検診平均受診率は胃X線検診が84.7%、胃リスク検診が82.6%でした。更に本年度から検診機関である栃木県保健衛生事業団が参加した精密検査未受診者推奨モデル事業に相乗りし、要精検者の更なる受診率アップを目指し頑張っています。

ま　と　め

胃がんリスク検診は胃X線検診と比較し、胃がん発見率は2.4倍、1件当たりの発見費用は１／３でした。また、検診を成功させるには自治体、検診機関、医師会が連携し、結果を共有し、熱意を持って住民の健康に対する意識を高めていくことが重要であると考えられました。

謝辞：大田原市がん検診事業に多大なご支援とご協力をいただいております、津久井富雄大田原市長、健康政策課の皆様、栃木県保健衛生事業団 森久保寛医療局長はじめ関係諸氏、吉成仁見大田原医師会長ならびに関係の諸先生に深謝いたします。

告知

第3回 胃がんリスク検診フォーラム

日　時：2016年4月22日（金）13：30～17：30

会　場：ＴＫＰ品川カンファレンスセンター　バンケットホール６Ｃ
東京都港区 高輪 3-26-33 京急第 10 ビル　TEL：03-5793-3571
http://www.kashikaigishitsu.net/facilitys/cc-shinagawa/access/

テーマ：**胃がんリスク検診　初歩から最新の考え方まで　～胃がんから命をまもるために～**

講　師：永田靖彦先生（永田外科胃腸内科院長 西東京市医師会）
木村秀和様　（神鋼記念病院 健診センター事務長）
ほか

演題など詳細は随時ＮＰＯのホームページで発信します。
申し込みは 2月8日(月)開始
メールまたは FAX にてお願いいたします
E-mail：info@gastro-health-now.org　FAX：03-3448-1078

あとがき

X線検診と胃がんリスク検診（ABC検診）の比較による、胃がん発見率や発見コストにおける胃がんリスク検診の優位性に関しては、たくさんの報告がありますが、今回の大田原市で注目すべきは、胃がんリスク検診陽性者の2次精検受診率が82.6％と、X線検診とほぼ同じ高さである点です。大田原医師会や関係諸氏の努力には頭が下がります。胃がんリスク検診は有リスク者が精検を受けなければ、胃がん発見に結び付きません。精検受診率こそが、胃がんリスク検診の要です。

那須野ヶ原の扇状地 要に位置する大田原市、ABCの包囲網に追い詰められたるX線が掲げしは日の丸の扇。誰か的を射貫かんと血気にはやるABCを、大将これをなだめ、厚労省御下賜の扇、これを射抜けば逆賊の汚名は免れぬ、如何したものか。

そこへ現れたるは大田原のツワモノ、精検受診率こそ検診の肝要なれ、これを上げてこそのABC検診と心得る、お任せあれと那須与一宗隆800年の子孫、大田原市イメージキャラクター与一くんに鏑矢を託す。 与一くん大きく頷き矢をつっと引き放つと、見事、矢は扇の要を射落とします。那珂川の川面に姿を映しながら舞っていく扇に、ABCのみならずＸ線も立ち上がっての拍手喝采、というお話、ここからがますます面白くなるところでありますが、ちょうどお時間となりました。 続きはまたの機会に。　(M)

事務局より　お知らせ

■ 平成27年度　ご支援のお願い

日ごろよりご支援を賜り、誠にありがとうございます。引き続き、胃がん撲滅に向けて活動して参ります。みなさまのご支援をよろしくお願いいたします。

【会費】平成27年度（平成27年4月1日～平成28年3月31日）
賛助会費　（個人）1口3000円　（法人）1口30,000円
【寄附】平成27年度（平成27年4月1日～平成28年3月31日）
当機構は平成25年5月29日に認定NPO法人になり、2000円を超えるご寄附をいただきますと、税制上の優遇措置がございます。寄附金受領証明書が必要な方は、事務局へご請求ください。

■ お振込み先

お振込み先　＊三菱東京ＵＦＪ銀行 目黒駅前支店　普通預金 No. 0008527
特定非営利活動法人 日本胃がん予知・診断・治療研究機構 理事長 三木 一正
＊郵便振替　00130-9-429200日本胃がん予知・診断・治療研究機構

☆お振込の際、ご親族・職場等、複数の会員様でまとめる場合は、お手数ですが払込取扱票の通信欄に全員のお名前をご記入下さい。

■ 転居・所属変更・退会希望等は、お早めに電話・FAX・メールにて事務局までお知らせ下さい。

認定NPO法人 日本胃がん予知・診断・治療研究機構
電 話　03-3448-1077　FAX　03-3448-1078　E-mail：info@gastro-health-now.org

本誌バックナンバーは、インターネット上でご覧いただくことができます。 http://www.gastro-health-now.org